

# 中小承継、子弟向け講座

## 関学大で4月 産創館が講師紹介

関西学院大学は大阪市「阪産業創造館」と連携した講座を2011年4月の中小企業支援機関「大」で事業承継をテーマにしから開く。実家が事業を

営む学生を対象に、家業を継いだ現役経営者が講師。講師は大阪産創館が紹介する。中小企業の後継者難が問題となっていて、関学大が開講する講座

は「次世代の後継者のための経営学」。初年度は4～7月の春学期に週1回開き、正規の単位も取れる。学部や学年は問わず、実家が事業を営んでいない学生も受講できる。大阪産創館とは1月中に連携協定を締結する。

11年度春学期の講座では、鋼管の販売会社から業態転換してメーカーとなった日建産業(大阪市)の浜口健宏社長ら9人の現役経営者が交代で登壇する。

会社存亡の機を脱したり、新規事業に成功した事例などを経営者自ら講義する。

受講生の家業を題材にしたグループ学習も計画。春学期終了後には自主ゼミとして工場見学や実地研修の機会も設ける考えだ。

コーディネーターを務める定藤繁樹副学長(大学院経営戦略研究科教授)は「関学には中高を含めて将来家業を継ぐことになる学生が少なからずおり、事業承継については卒業生や学生の父母らの関心も高い」と話している。

日経、朝日、読売の  
各新聞紙上で  
関学の取り組みが  
紹介されました。

